

キッド (1921)

THE KID

メディア 映画
ジャンル ドラマ コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 52分
初公開日 1921/07
公開情報 劇場公開
リバイバル 1975/03 [東宝東和]

【キャッチコピー】

可愛いイタズラ天使 ジャッキー坊やと チャーリーのコンビが 爆笑と涙を溢れさす！ 天才チャップリンの 真髄を開花させた 不朽の名作！（リバイバル時）

【解説】

ある日、いつもの様に街を散歩していたチャーリーの耳に赤ん坊の泣き声が聞こえてきた。辺りを見回すとまだ生まれたばかりの赤ん坊が街頭に捨てられている。どうしたものかと抱き上げた彼の目の前に、パトロール中の警官が通りかかった。警官は彼が赤ん坊を捨てにきたと勘違いし、目を光らせている。仕方なく彼は、その赤ん坊を自分のボロ・アパートに連れて帰った。それから5年後ーその子はチャーリーの仕事を手伝う程成長していた。彼が石を投げてガラスを割った後、なにくわぬ顔でガラス屋のチャーリーが修理して回るという段取りで、2人は貧しいながらも幸せに暮らしていた。そんなある日、急病の坊やを医者に見せたことから捨て子だったことが分かり、坊やは強制的に孤児収容所に送られそうになるが……。ふとしたことで捨て子を拾って育てるハメになった浮浪者チャーリーが、やがてその子と実の親子以上の強く深い愛で結ばれるまでを、笑いと涙で描いた、チャップリンの演出芸術が素晴らしい傑作。舞台となる下町の風景は、ロンドンで過ごしたチャップリンの悲しい思い出に繋がり、また“キッド”役の5歳のジャッキー・クーガン坊やは、そのまま彼の幼い頃と重なる様な印象を持っている。

【クレジット】

監督	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
製作	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
脚本	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
撮影	ロリー・トザロー	Rollie Totheroh
出演	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
	ジャッキー・クーガン	Jackie Coogan
	エドナ・パーヴィアンス	Edna Purviance
	カール・ミラー	Carl Miller
	チャック・ライスナー	Chuck Reisner
	トム・ウィルソン	Tom Wilson
	ヘンリー・バーグマン	Henry Bergman
	アルバート・オースチン	Albert Austin
	リタ・グレイ	Lita Grey